

# AlphaJet



ユーザーリファレンス

(株)ユカアンドアルファ

2023/2/10 改訂

# 目次

【出力操作手順】 p.10～p.15

(1)出力準備.....	2
1)パーツ名称(主なパーツ).....	2
2)AlphaJet 使用準備.....	3
(2)プロッター出力.....	10
1)ファイル選択～出力.....	10
2)連続出力.....	12
3)出力開始位置の変更.....	13
4)部数変更.....	14
5)マーカ―の回転.....	14
(3)アイコンについて.....	16
1)プロッター操作.....	16
2)ファイル操作.....	16
3)画面操作.....	18
4)その他.....	19
(4)Windows11,10 でのインストールについて.....	20
1)Windows11 の場合.....	20
2)Windows10 の場合.....	21
3)Windows11,10 共通.....	22
(5)ドライバーの再インストール.....	24
(6)スケールの調整.....	26
(7)線ズレの補正.....	28
(8)AlphaJet 設定情報のバックアップ・リストア.....	32
1)AlphaJet 設定情報のバックアップ.....	32
2)AlphaJet 設定情報のリストア.....	32

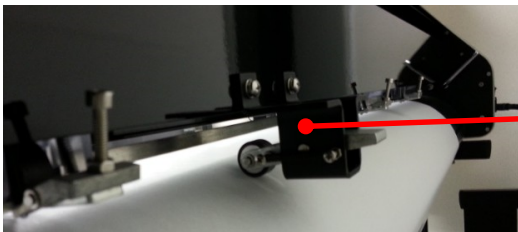
## (1) 出力準備

### 1) パーツ名称 (主なパーツ)

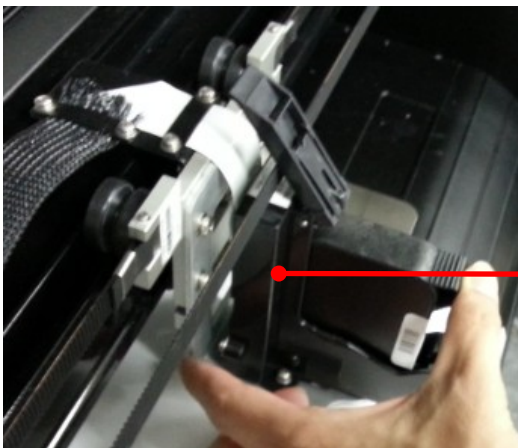


PAPER HOLDER(フランジ)

FEED ROLL(ロール紙シャフト)



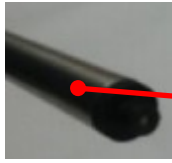
PAPERTOUCHING DEVICE  
(エンコーダーローラー)



INKCARTRIDGE DEVICE  
(カートリッジデバイス)



PRESSURE DEVICE  
(加圧ローラー)



TENSIONROLL  
 (スチール製テンションバー)  
 ※後方テンション用



TENSIONROLL  
 (アルミ製テンションバー)  
 ※前方テンション用



インクカートリッジ  
 (hp45)  
 型番: 51645AA#003

2) AlphaJet 使用準備

- 1) 「FEED ROLL」にロール紙をセットします。  
 FEED ROLL 左側にある PAPER HOLDER を付属の六角レンチで取り外し、ロール紙を FEED ROLL にセットして下さい。



※FEED ROLL 右側にセットした PAPER HOLDER 固定位置は動かさないで下さい。  
 インクの描きだし位置を元に、ビニールテープで位置決めをしています。



ロール紙のセットする方向は下図の向きとなります。

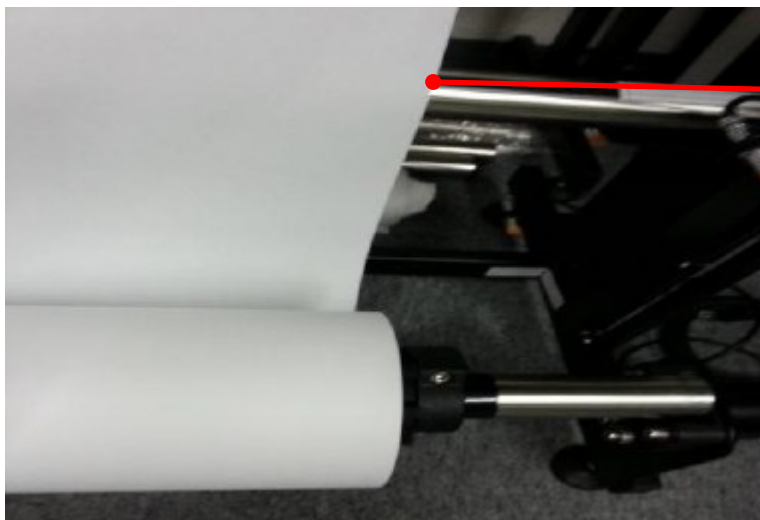


2)ロール紙をセットした FEED ROLL を下図のように置きます(載せるだけです)。

※この時点では FEED ROLL をモーター(四角い突起)にセット(ロック)しないで下さい。



3)用紙を下図のように送ります(銀色の梁の手前を通過させます)



ロール紙は、銀色梁の手前を通過

4)ロール紙を AlphaJet 後ろ側から加圧ローラー下に送ります。

※このとき、FEED ROLL はまだモーター(四角い突起)にセット(ロック)していません。



5)4)で手前に引き出したロール紙を押さえたまま、FEED ROLL をモーターへセット(ロック)します。



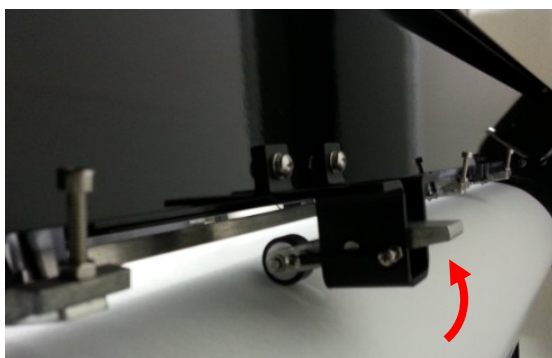
6)AlphaJet 正面中央に立ち、ロール紙を左右に振りながら均等にテンションをかけます。



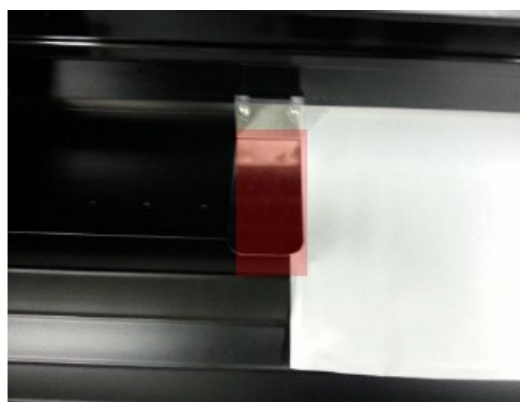
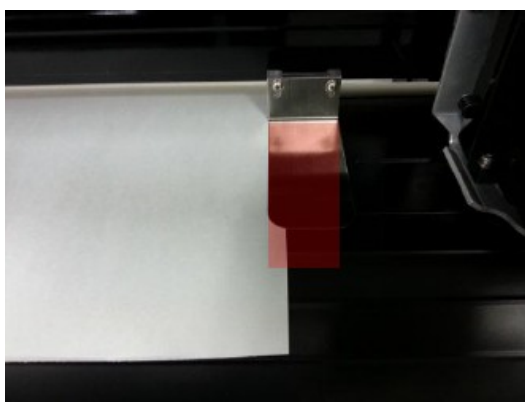
7) ロール紙にテンションをかけたまま、用紙押さえレバーを手前に起こして加圧ローラーを下げます。



8) レバーを上げ、PAPER TOUCHING DEVICE(エンコーダーローラー)を下げます。



9) 用紙両端 5mm ほどの位置に浮き防止プレートを載せます。



10) インクを「CARTRIDGE DEVICE」へセットします。

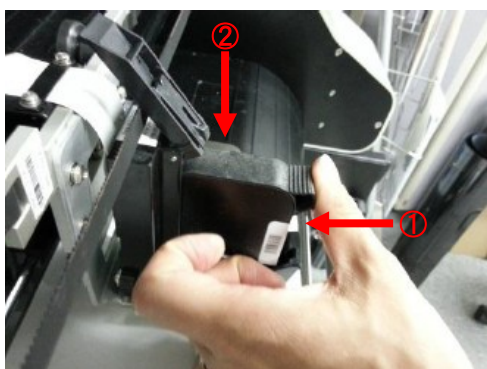
10-1. 「CAETRIDGE DEVICE」を手で押さえながら、インクを斜めに入れます。

※インクの抜き差しは、必ず AlphaJet 電源を OFF にして行って下さい。



10-2. ①の方向に押し、インクの背中をつけるように真っ直ぐにしたのち、②の方向からもきちんとインクを押し込み、「CARTRIDGE DEVICE」カバーを閉じます。

※インクがきちんとセットされていないと、作図が破線になる原因となります。

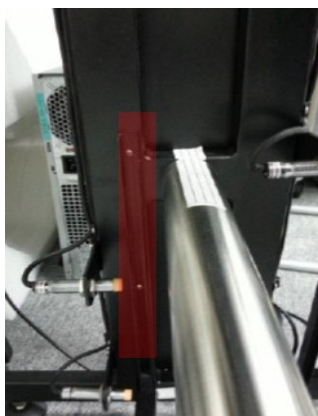


11) TENSION ROLL(スチール製)をセットします。

11-1. AlphaJet 電源を入れたのち、一旦電源を切ります。(電源を入れるのは1秒ほど)

※「FEED ROLL」を回転させ、ロール紙を一定量排出します。

11-2. 後方のガイドレールへ「TENSION ROLL(スチール製)」をおきます。

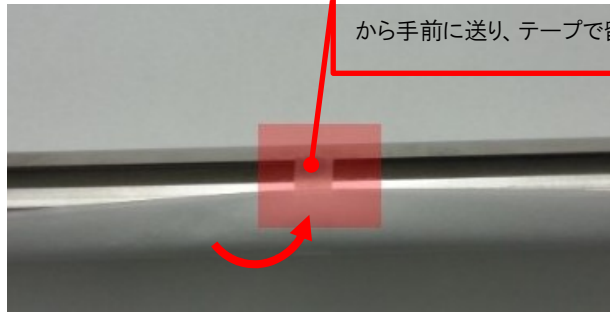




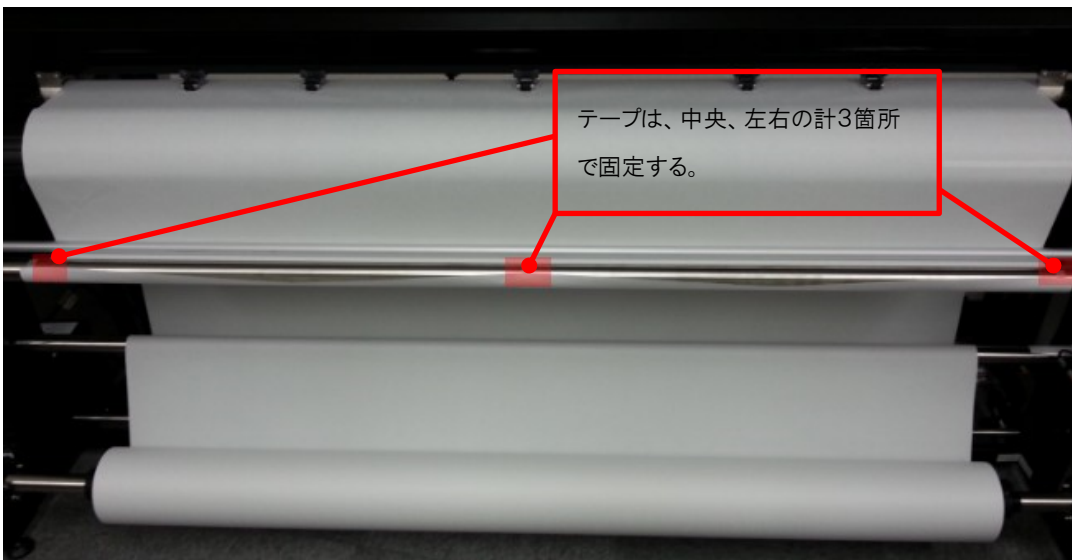
11-3. AlphaJet の電源を入れ、準備完了です。



※必要に応じて、ロール紙の巻き取りをご使用ください。

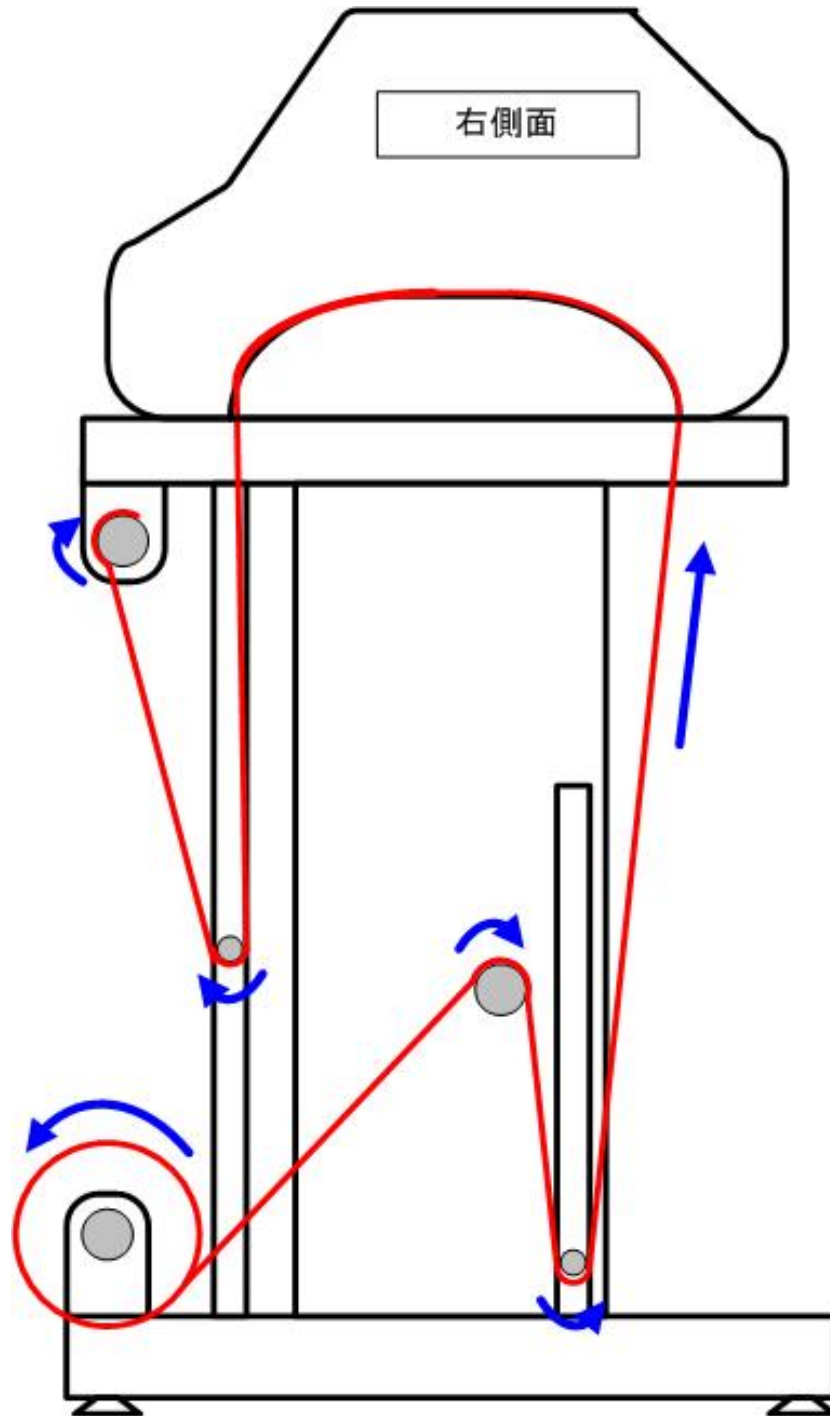


ロール紙は、巻き取りシャフトの下から手前に送り、テープで留める。



テープは、中央、左右の計3箇所で固定する。

ロール紙セットの流れ



## (2) プロッター出力

### 1) ファイル選択~出力

1) CADにてプロットファイル(オフラインファイル)を作成します。

#### AlphaJet 出力条件

【SuperAlpha:Plus】

機種名:HP700 モード:1

用紙設定:ロール

横:158 ※用紙幅より-2cm程度

縦:500 ※マーキング用尺以上の長さ(cm)

標題:最後

【Alphamyu】

機種名:HP700

オフラインへに

オフライン格納フォルダ:任意

縦:158

表位置:右側

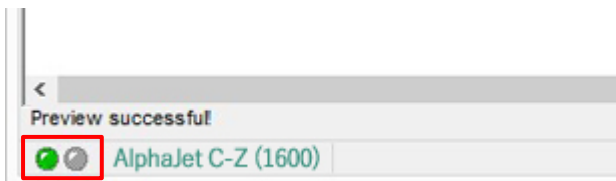
2)「Plot」を起動します。



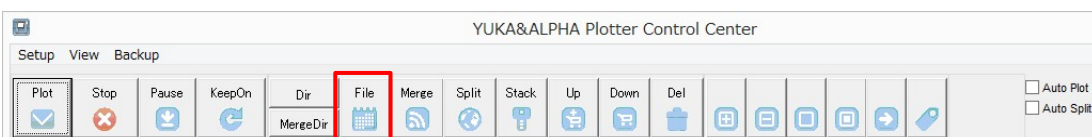
3)AlphaJet の認識状態を確認します。

画面左下の点灯色が「緑」であれば、AlphaJet を正常認識しています。

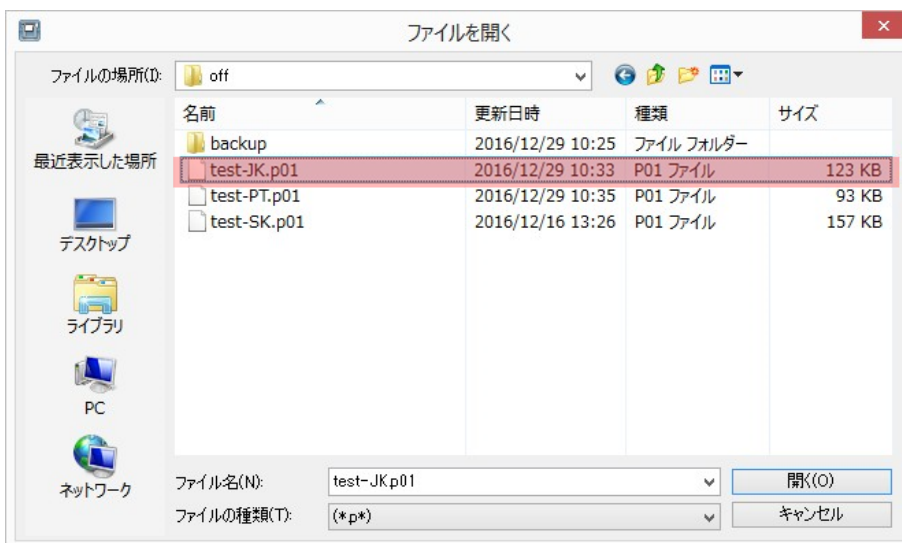
「赤」の場合、AlphaJet を認識していないので、ケーブル接続状況の確認もしくはネットワーク状況の確認をして下さい。



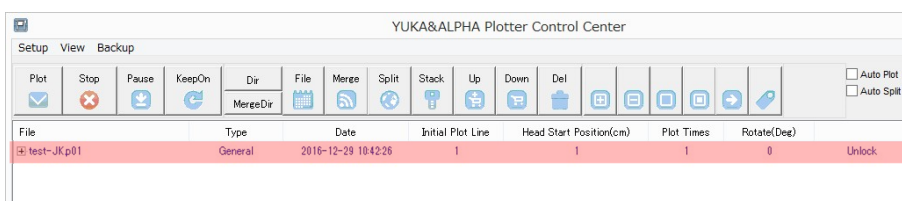
4)メニューアイコンの「File」をクリックします。



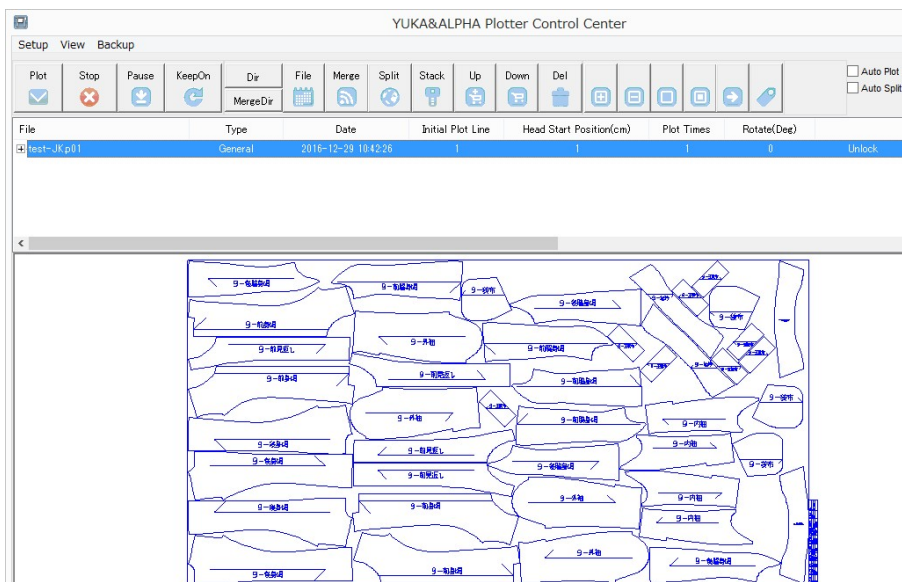
5) 出力したいマーキングファイルを選択し「開く」をクリックします。(複数ファイル選択も可能です)



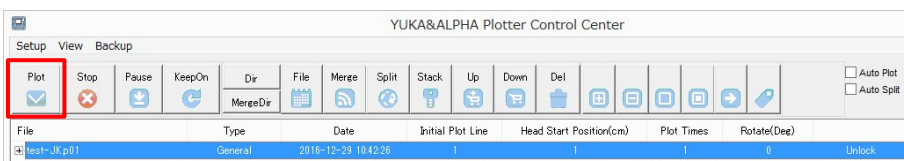
6)開いたプロットファイルがリスト表示されます。



リストにあるプロットファイルを選択すると、プレビュー表示されます。



7)出力するプロットファイルを選択し、「Plot」をクリックすると、出力が開始されます。



基本的な操作ボタンは以下となります。



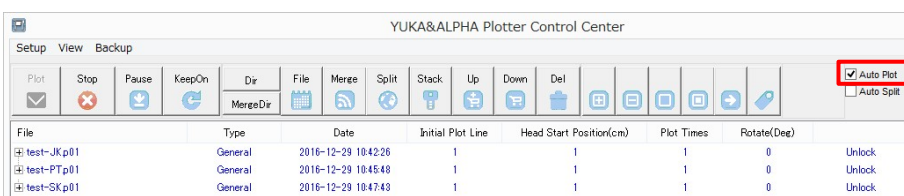
「Plot」・・・出力開始 「Stop」・・・出力中止 「Pause」・・・一時停止 「KeepOn」・・・出力再開

## 2) 連続出力

複数のマーキングファイルを連続して出力することができます。

1)上述の「ファイル選択～出力」の手順で複数ファイルをリスト表示します。

2)メニューアイコン右側にある“Auto Plot”にチェックを入れると、リストで選択したファイル以降のファイルを連続して出力します。



※出力中に“Auto Plot”チェックを外すと、出力中のマーキングファイルを描き終えて止まります。

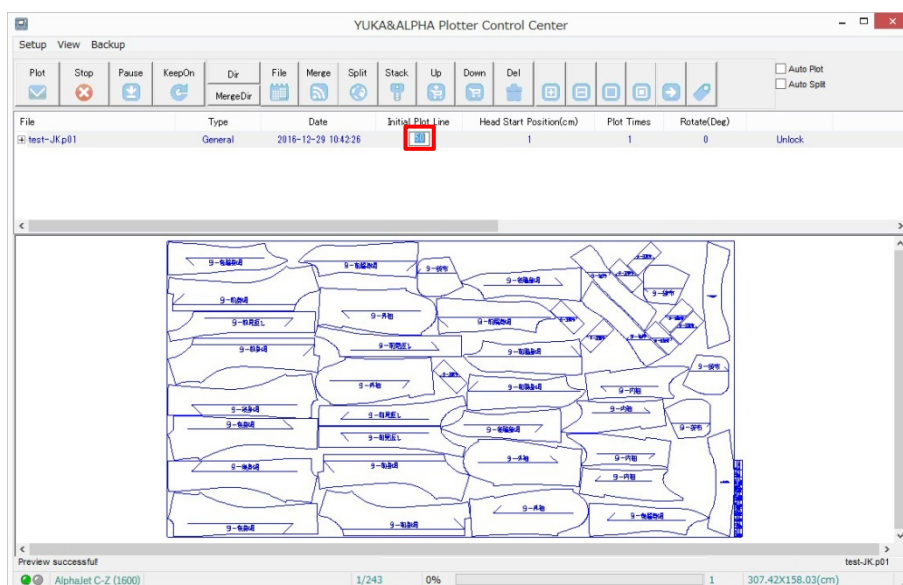
### 3) 出力開始位置の変更

マーキングファイルの途中から出力を開始することができます。

1) リスト表示されているマーキングファイルの“Initial Plot Line”箇所をクリックします。

2) 出力を開始したい行を入力します。

それ以降の操作は、上述の「ファイル選択～出力」と同様です。



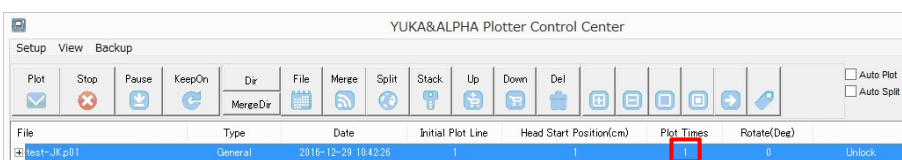
※画面下に表示されている「○/○」は、出力に要するインクカートリッジの往来回数を表しています。

※出力開始行とは、「○/○」のインクカートリッジ往來の分子にあたる数字を指します。

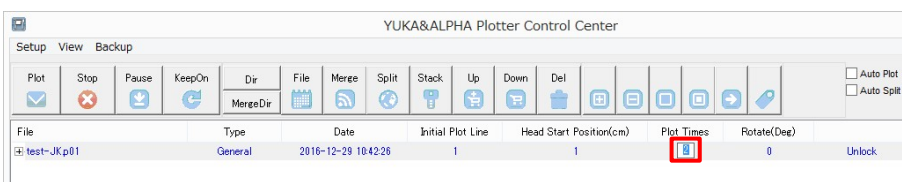
## 4) 部数変更

1つのマーキングファイルを複数部数出力することができます。

1)リスト表示されているマーキングファイルの“Plot times”箇所をクリックします。



2)カーソル表示がされたら出力したい部数を入力します。

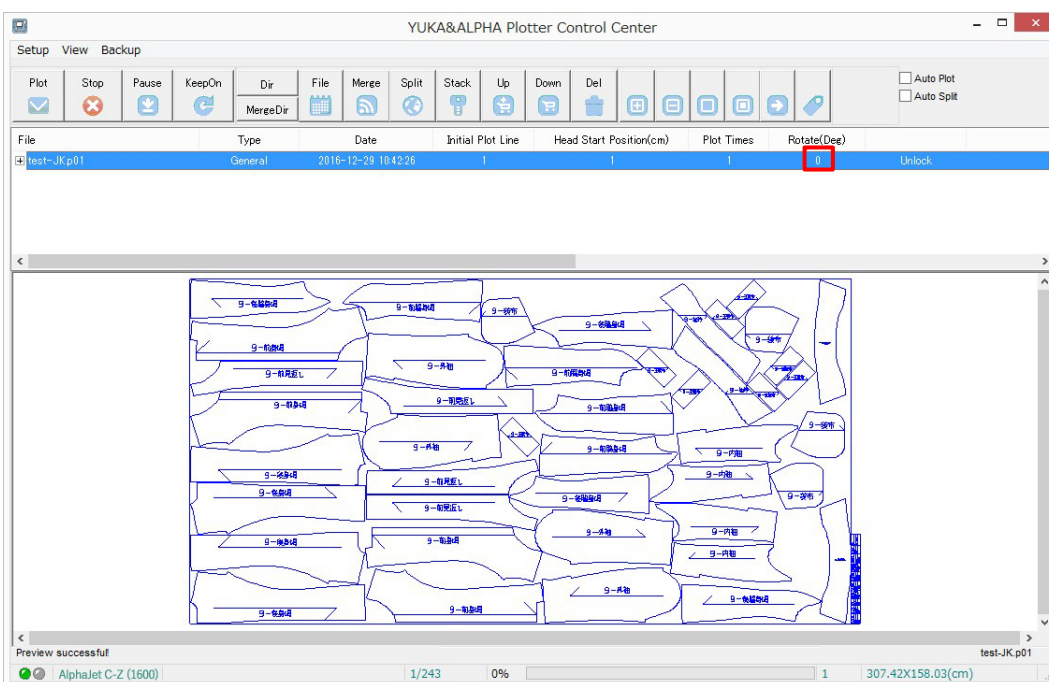


それ以降の操作は、上述の「ファイル選択～出力」と同様です。

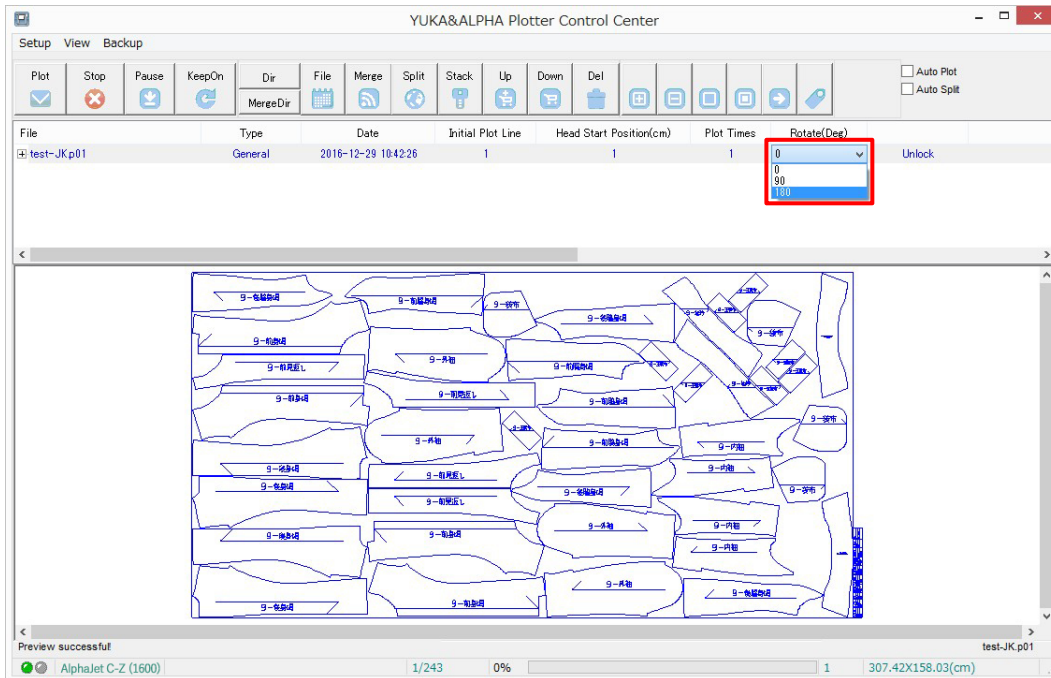
## 5) マーカーの回転

マーカファイルを回転させることができます。

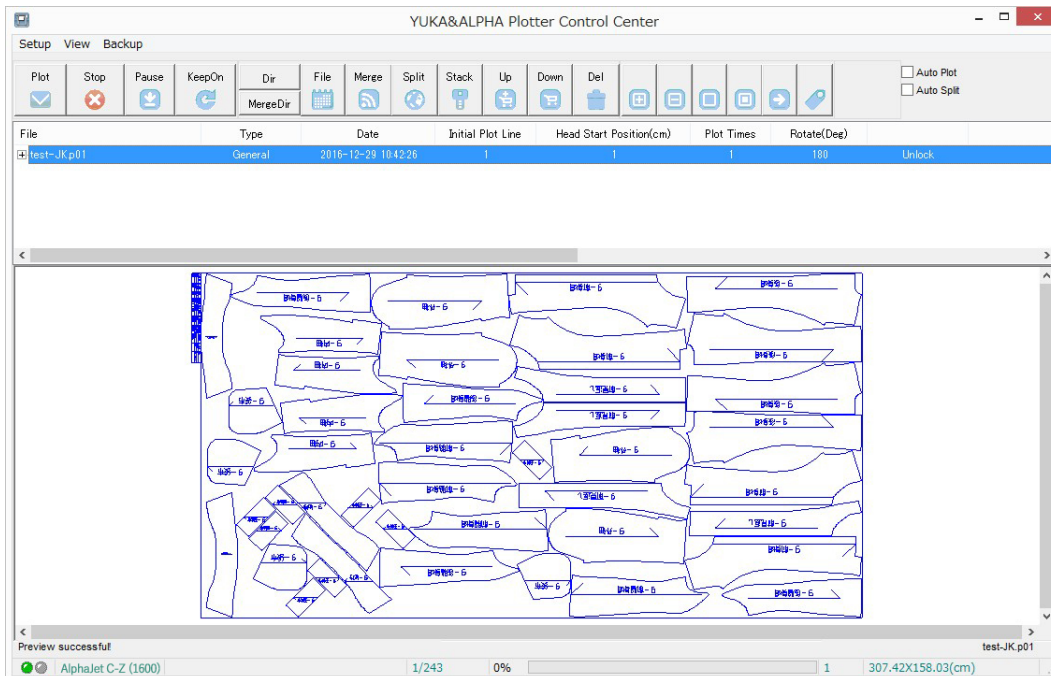
1)リスト表示されている、回転させたいマーカファイルの“Rotate(Deg)”をクリックします。



2)プルダウンリストにて「180」をクリックします。



3)マーカーファイルが 180 度回転されます。



それ以降の操作は、上述の「ファイル選択～出力」と同様です。



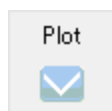
### (3) アイコンについて

マーキングオフラインファイルを AlphaJet へ出力する為のソフトウェアである「YUKA&ALPHA Plotter Control Center」の各アイコンについて分類別に記載します。



#### 1) プロッター操作

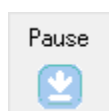
主に AlphaJet 本体の出力開始や停止などを制御するアイコンです。



Plot 選択しているファイルのみ AlphaJet にて出力開始します。



Stop 出力中の AlphaJet を途中で終了します。



Pause 出力中のファイルを AlphaJet にて一時停止します。

※本体の[Pause]押下と類似の動作です



KeepOn 一時停止中の AlphaJet の出力を再開します。

※本体の[Pause]押下で一時停止中に、再度[Pause]押下と類似の動作です

#### 2) ファイル操作

主にオフラインマーカーファイルの各種読み込みや並び替えなどを行うアイコンです。



Dir 特定のフォルダを指定しておくことで、そのフォルダにマーカーファイルが保存されると自動的に読み込みます。

※読み込まれた時点でフォルダ内の”Backup”フォルダにファイルが移動されます。

MergeDir

上記[Dir]と同じディレクトリ自動読み込み動作ですが、読み込み後の配置については後述する[Merge]の配置をします。

File



AlphaJet で出力するマーカーファイルを選択して、読み込みます。

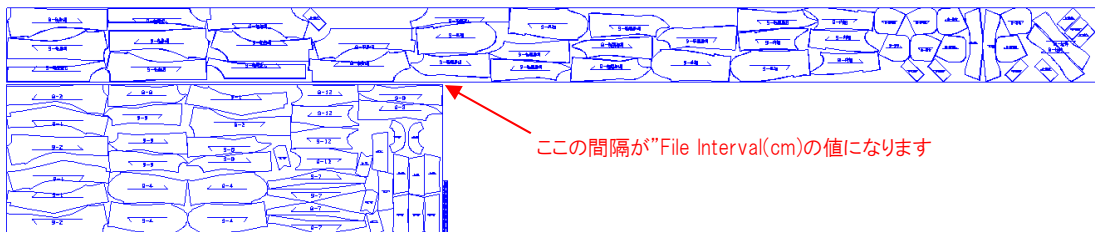
Merge



P.28 の 4-11. "File Width(cm)" で設定されている数値以内であれば、複数のマーカーファイルを選択することで、横並びに配置することができます。

※マーカーファイル同士の間隔は P.28 の 4-11. "File Interval(cm)" となります

例) 設定が File Width(cm)=178cm、File Interval(cm)=1cm としている場合で、58cm 巾と 119cm 巾のマーカーファイルを[Merge]で読み込んだ場合下記の通りになります。

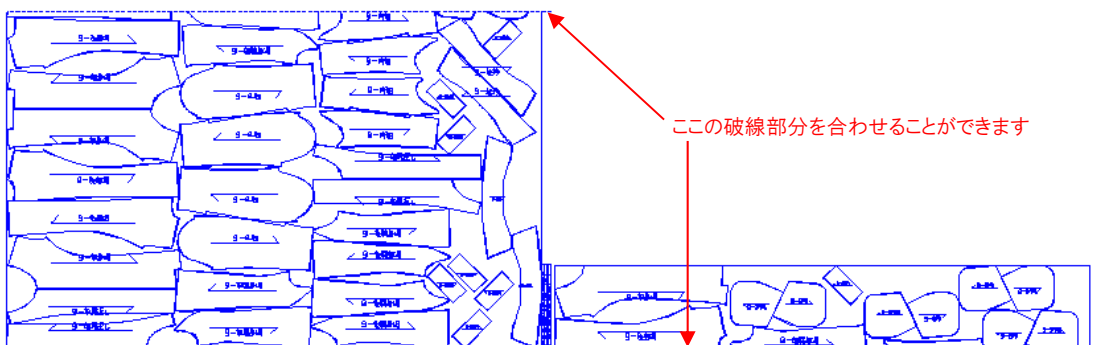


Split



P.28 の 4-11. "File Width(cm)" で設定されている数値以上のマーカーファイルを選択した場合に、切り貼りすることを前提に縦並びに配置することができます。

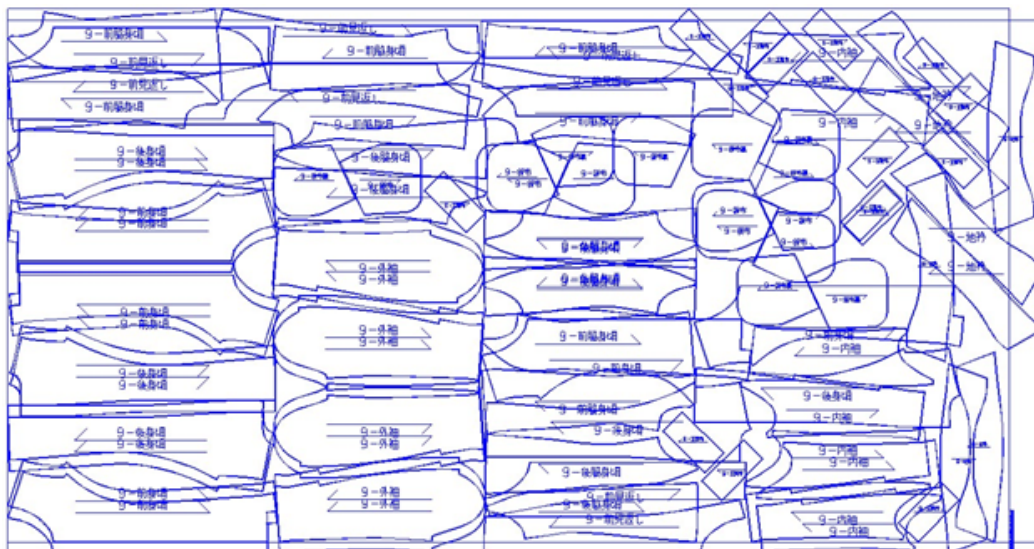
例) 下図のように読み込まれます





複数のマーカーファイルを選択することで、重ねて配置することができます。

例) 下図のように読み込まれます



マーカーファイルが複数読み込まれている場合に、選択しているファイルを上や下に移動させることで、AutoPlot 時の出力順を変更できます。



選択しているマーカーファイルを Plotter Control Center から削除します。

※オフラインマーカーファイル自体は削除しません

### 3) 画面操作

主にプレビュー画面の表示操作を行うアイコンです。



プレビュー画面を拡大表示します。



プレビュー画面を縮小表示します。



プレビュー画面を全体表示します。



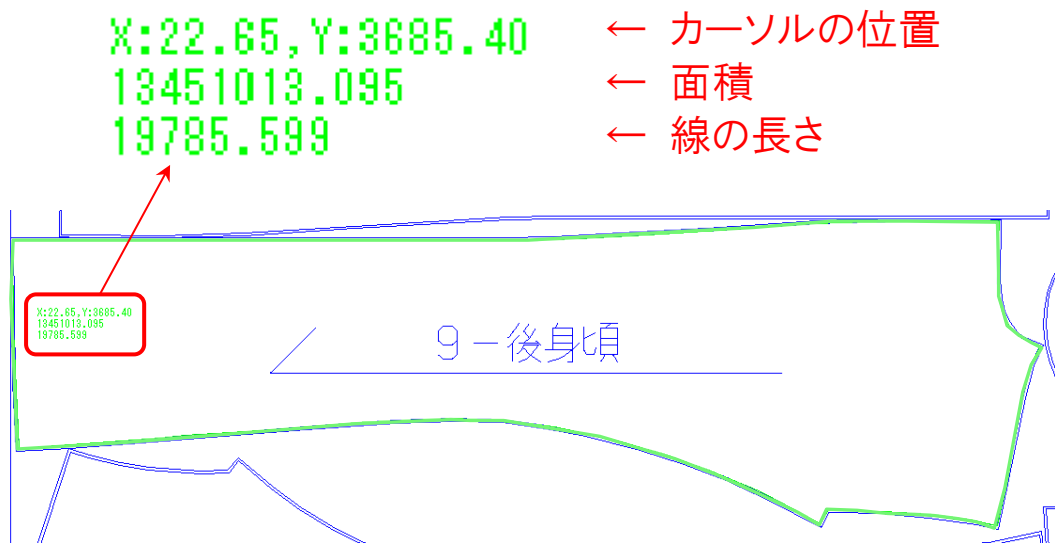
プレビュー画面の範囲選択した部分を拡大表示します。



プレビュー画面をドラッグアンドドロップで動かすことができます。



プレビュー画面で複数点クリックしていくことで、緑線における線の長さや、面積を表示できます。



#### 4) その他

その他の動作に関する操作になります。

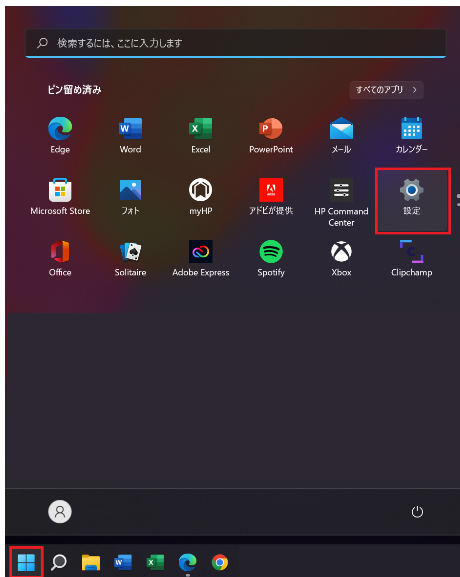
- Auto Plot ✓してあると読み込まれているファイルを自動的に連続出力します。  
※ファイルを読み込んである状態から✓しても、その全てを連続出力します。
- Auto Split ✓してあるとP.17のSplitと同様に、切り貼りすることを前提にした縦並びの配置をすることができます。  
※P17 [Split] と同様の配置をします。

## (4) Windows11,10 でのインストールについて

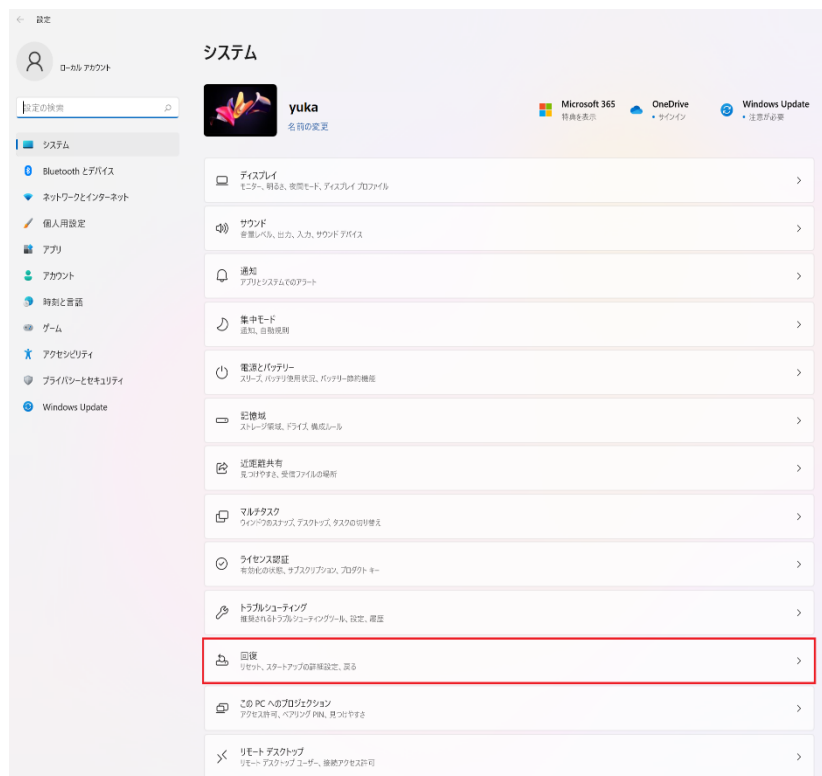
Windows8 以降、「デジタル署名」されていないデバイスドライバーのインストールが、通常ではできないようになっているため、最初に以下の手順でインストール作業を実施して下さい。

### 1) Windows11 の場合

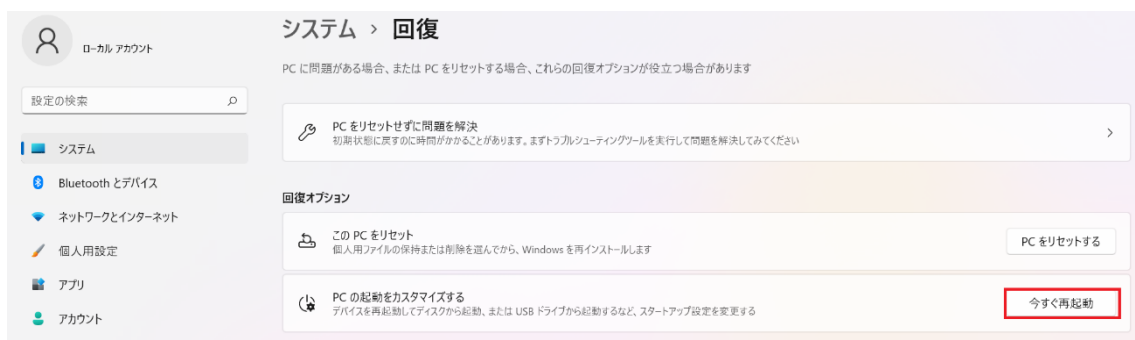
1)「スタートメニュー」-「設定」をクリック。



2)「回復」をクリック。



3) 「PC の起動をカスタマイズする」の『今すぐ再起動する』をクリック。

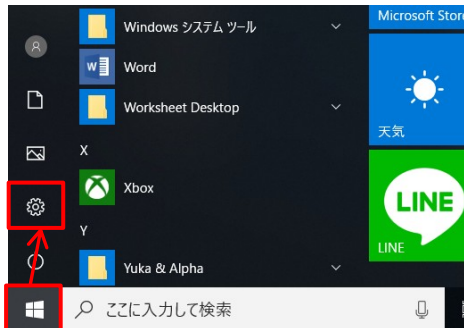


4) P.22 4)Windows11,10共通 に進みます。

## 2) Windows10 の場合

1)「スタートメニュー」-「設定」をクリック。

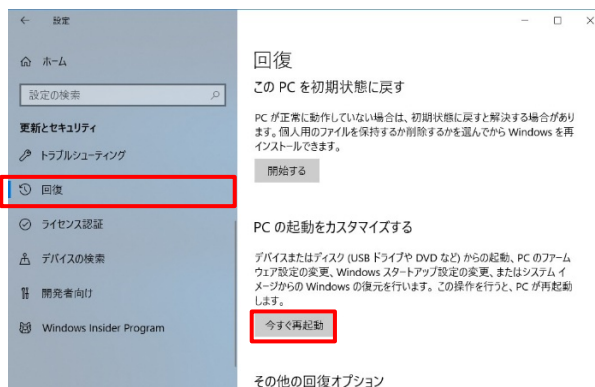
※Windows10 のバージョンによって設定アイコンの場所が違います



2)「更新とセキュリティ」をクリック。



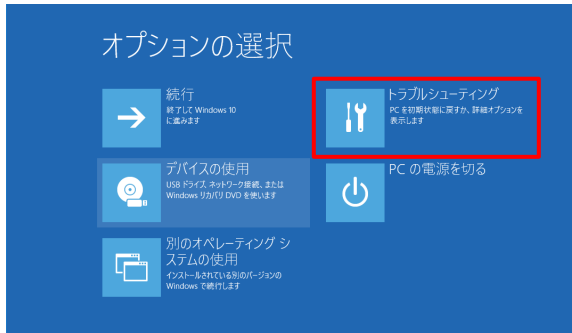
3)「回復」-「PC の起動をカスタマイズする」の『今すぐ再起動する』をクリック。



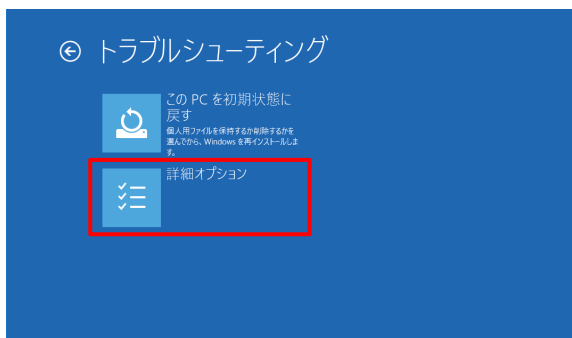
4) P.22 4)Windows11,10共通 に進みます。

### 3) Windows11,10 共通

5)「オプションの選択」-「トラブルシューティング」をクリック。



6)「トラブルシューティング」で「詳細オプション」をクリック。



7)「詳細オプション」-「スタートアップ設定」をクリック。



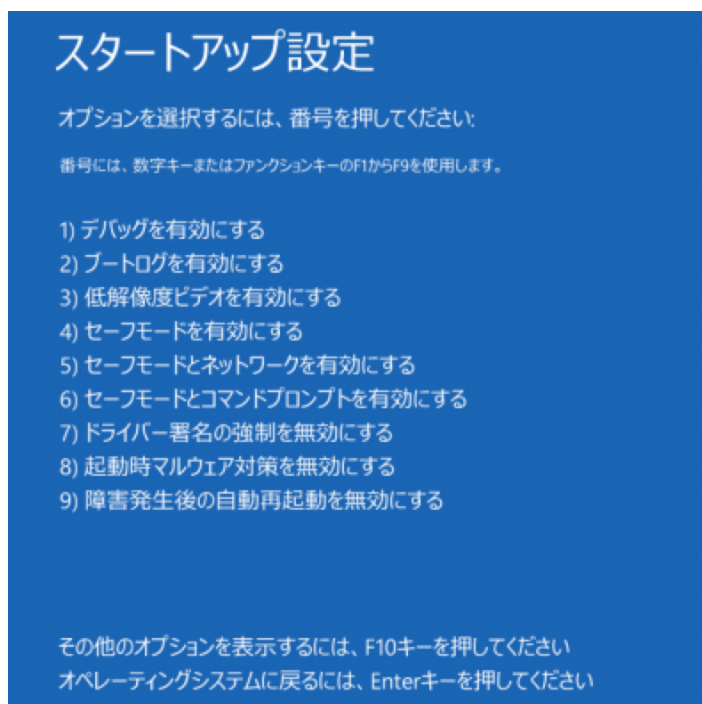
※もし「スタートアップ設定」が表示されていない場合は、下図のように「その他の修復オプションを表示」をクリックすると別画面で表示されます。



8)「スタートアップ設定」-「再起動」をクリック。



9)「スタートアップ設定」画面でキーボードの [7] もしくは [F7] キーを押す。



10)PC が再起動し、Windows が起動します。

見た目は普通ですがデジタル署名なしでもインストール可能となっています。

11)引き続き、次項以降を参照して、作業を進めてください。



## (5) ドライバーの再インストール

Windows10 バージョンアップ以降、AlphaJet のデバイスドライバーを削除されてしまうことがあります。その際には AlphaJet ドライバーを再インストールする必要があります。

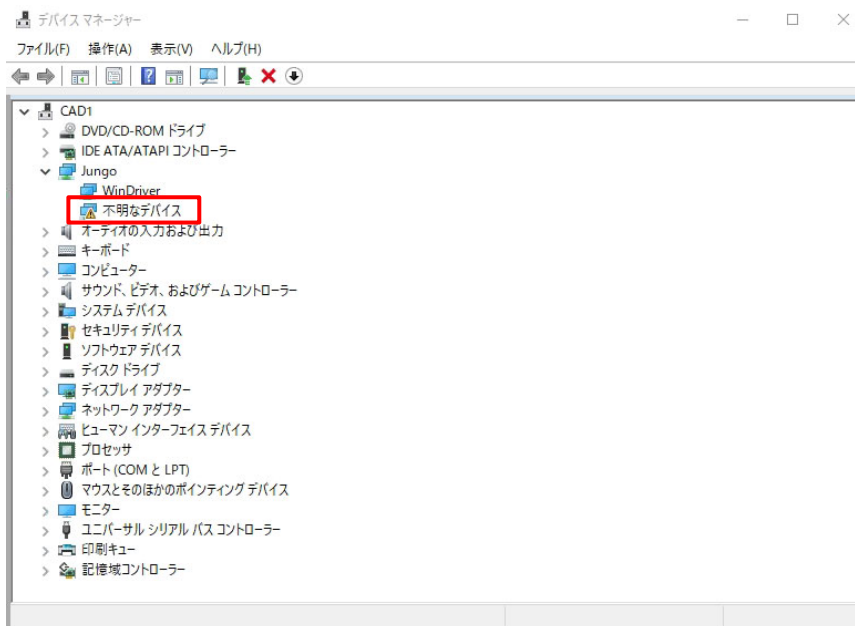
下記手順に沿って実施して下さい。

※Windows8 以降、「デジタル署名」されていないデバイスドライバーのインストールが、通常ではできないようになっているため、P.20 [\(4\)Windows11,10 でのドライバーインストールについて](#) を実施してから以下のインストール作業を実施して下さい。

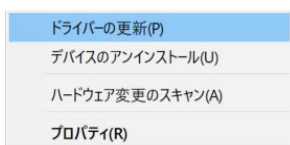
- 1) AlphaJet の電源を入れます。
- 2) スタートボタンの上で右クリックし、「デバイスマネージャー」を開きます

スタートボタン:  (Windows11)  (Windows10)

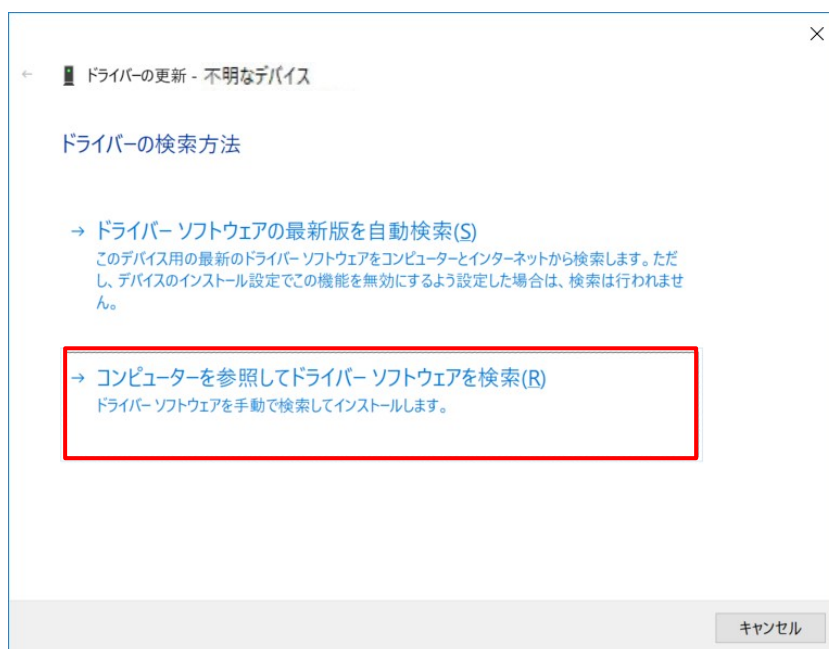
- 3) デバイスマネージャー内、「Jungo」-「不明なデバイス」(もしくは「SinaJet」)が正常に動作していない状態になっていることを確認します。



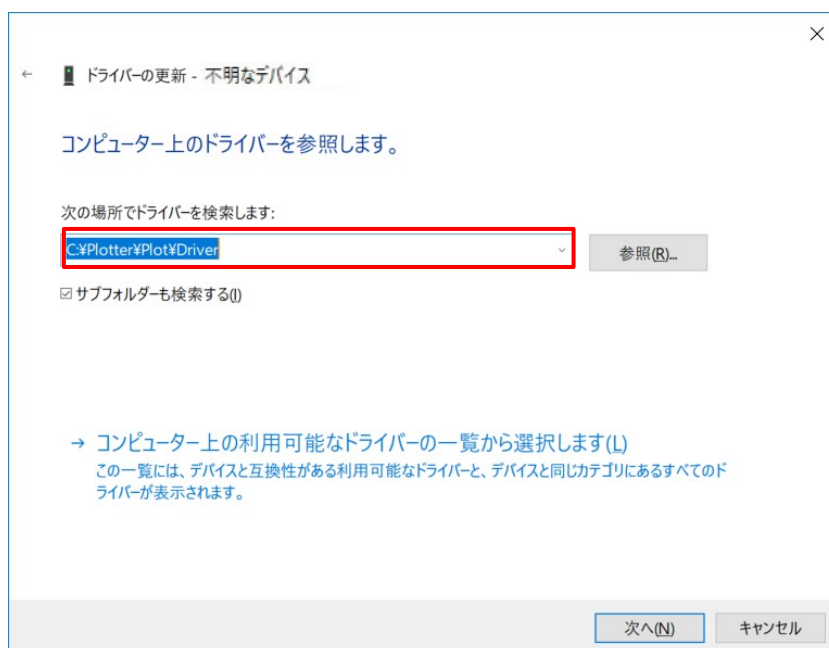
- 4) 「不明なデバイス」(もしくは「AlphaJet」)の上で右クリックメニューを表示し、「ドライバーの更新」をクリックします。



- 5) ドライバーの検索方法で「→ コンピューターを参照してドライバーソフトウェアを検索」をクリックします。



- 6) 次の場所でドライバーを検索しますで「C:¥Plotter¥Plot¥Driver」を入力(参照)します。



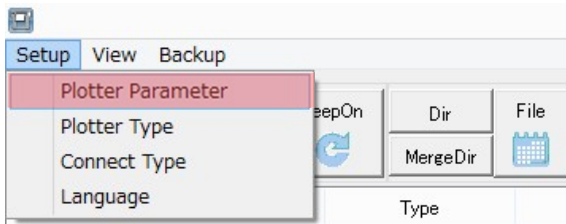
- 7) [次へ]をクリックしていきその後も指示通りに進めていくことで正常に AlphaJet のデバイスドライバーが再インストールされます。

## (6) スケールの調整

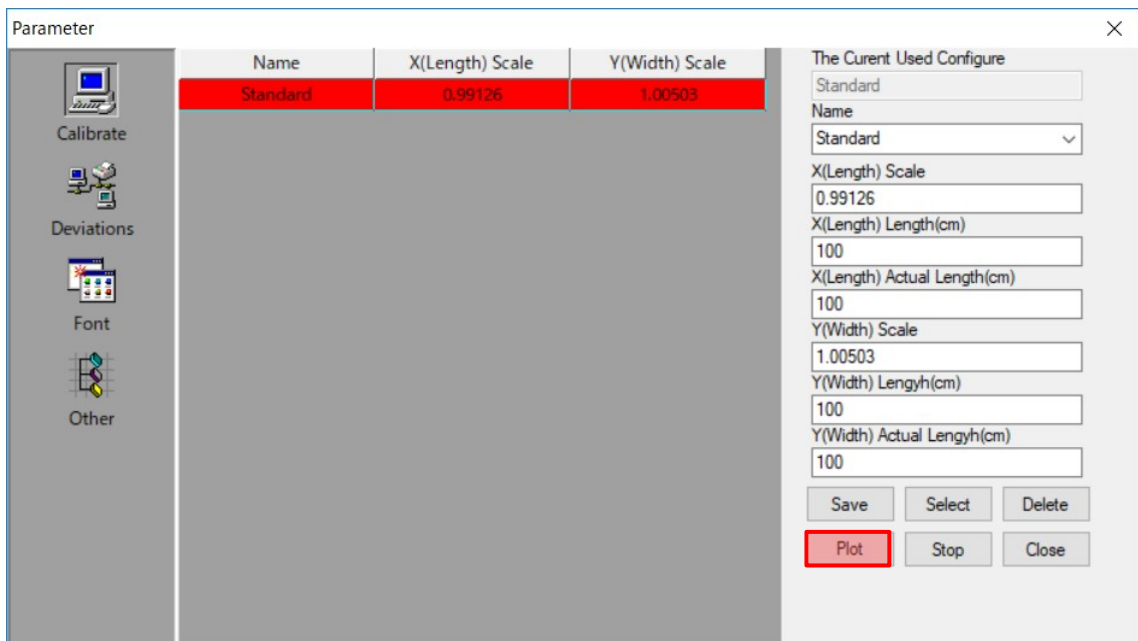
1) デスクトップにある【Plot】をダブルクリックします。



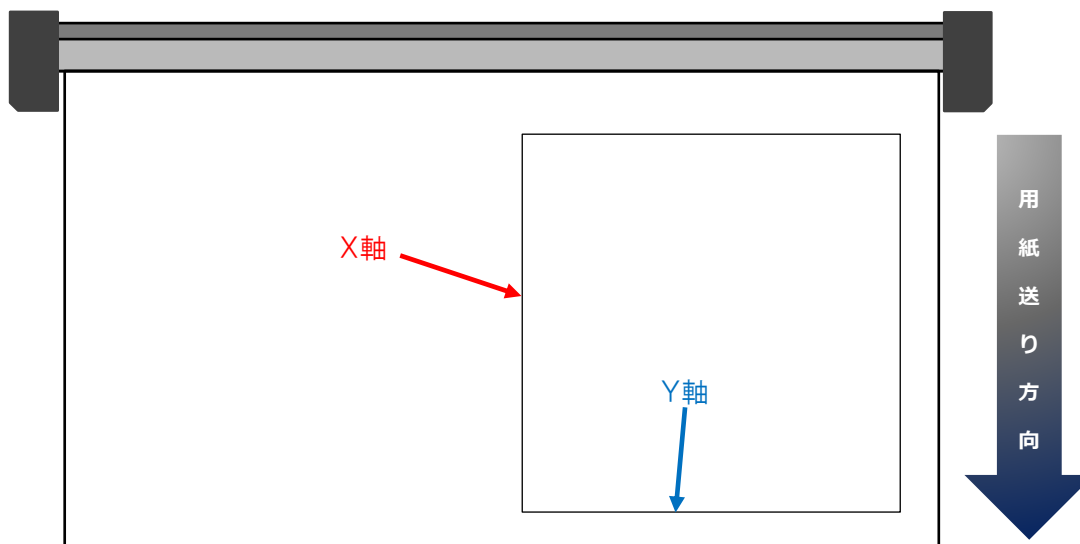
2) メニュー「Setup」-「Plotter Parameter」をクリックします。



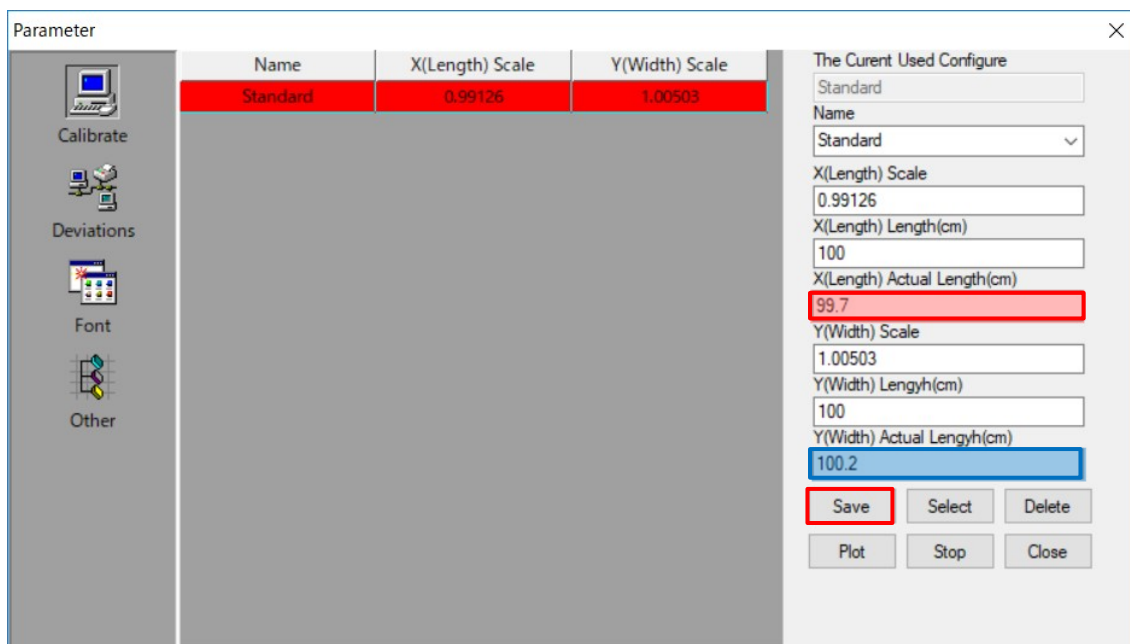
- 1-1. 次に納品時におけるスケールの微調整を行います。  
プロッター出力できる状態にして、[Plot]ボタンをクリックすると  
「1mの正方形」をプロット出力します。



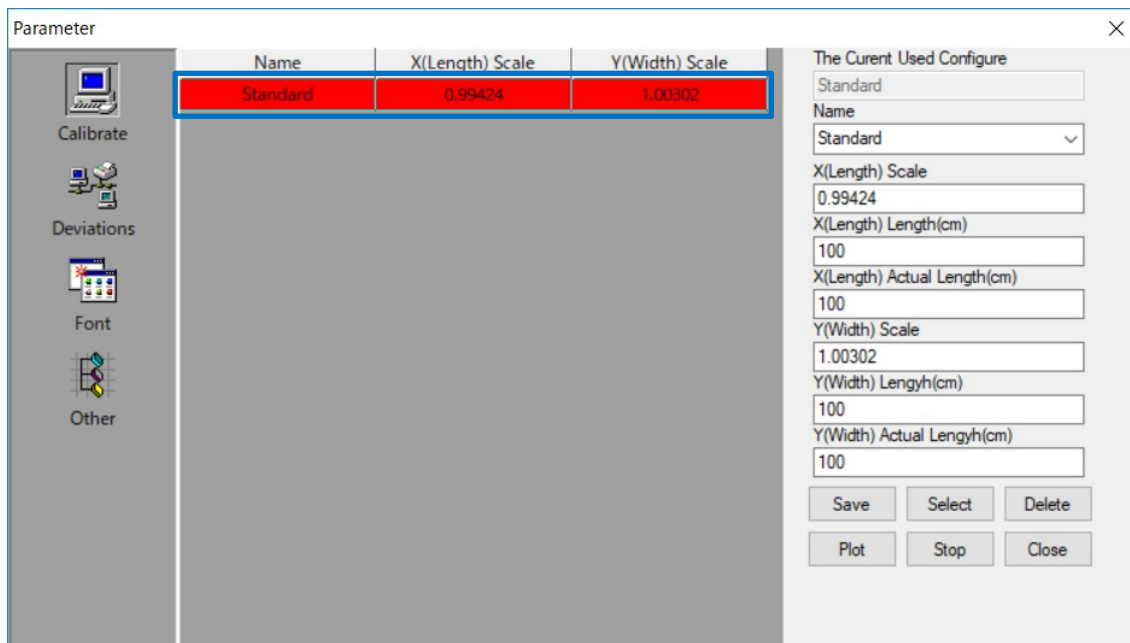
- 1-2. 出力された四角形の縦(X軸)、横(Y軸)を測ります。  
なお測った値が1m(100.00cm)だった場合にはスケール補正する必要はありません。



- 1-3. 測った実際の長さを「X, Y(Length) Actual Length(cm)」にそれぞれ入力して  
[Save]をクリックします。  
例) 下の場合は X が 99.7cm、Y が 100.2cm の場合



1-4. X, Y それぞれのスケール値が補正後の値に変更されます。

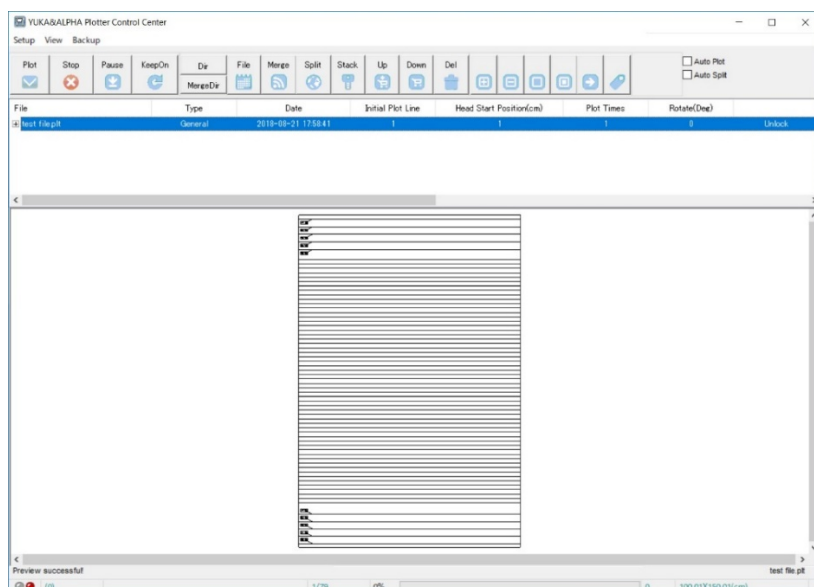


1-5. 再度 1-3.の「1m の正方形」をプロット出力して測り、スケールが正しくなるまで繰り返し調整します。

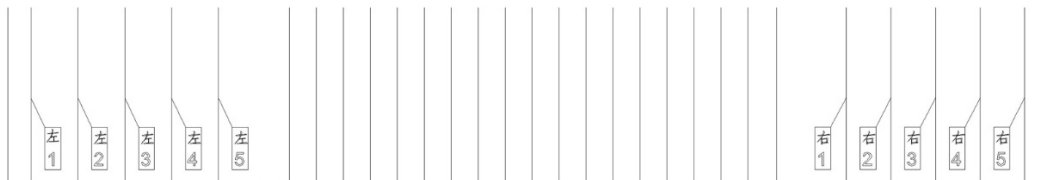
## (7) 線ズレの補正

2-1. 次に線ズレの補正を行います。

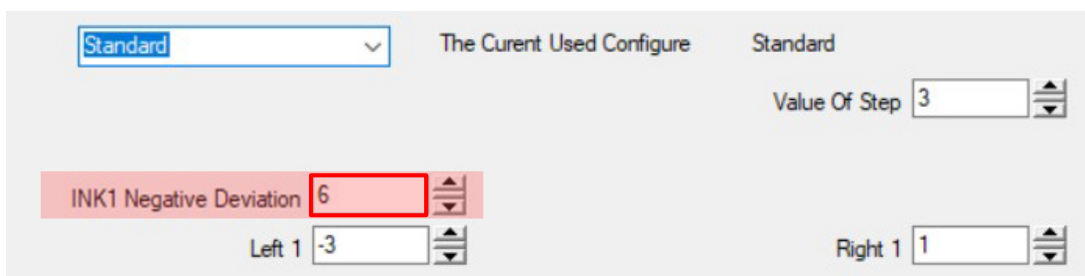
プロッター出力できる状態にして、Plotter Control Center よりインストーラーCD 内の“Accuracy calibration and bi-directional adjustment¥test file.plt”ファイルを出力します。



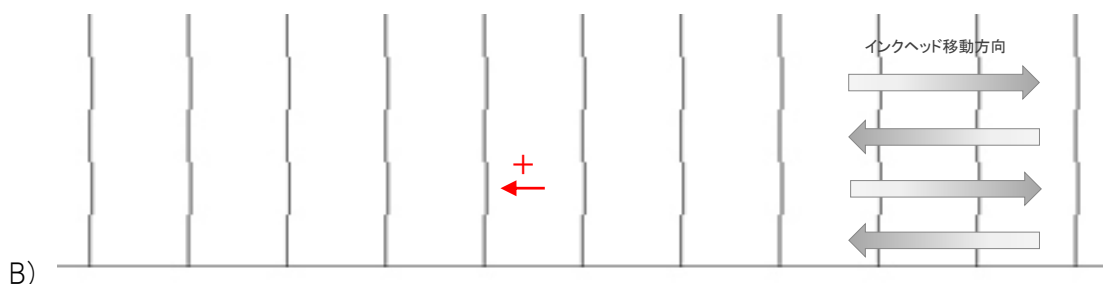
2-2. 下図のように出力されるので、主に「中央」、「左」、「右」の線ズレを確認して、補正していきます。



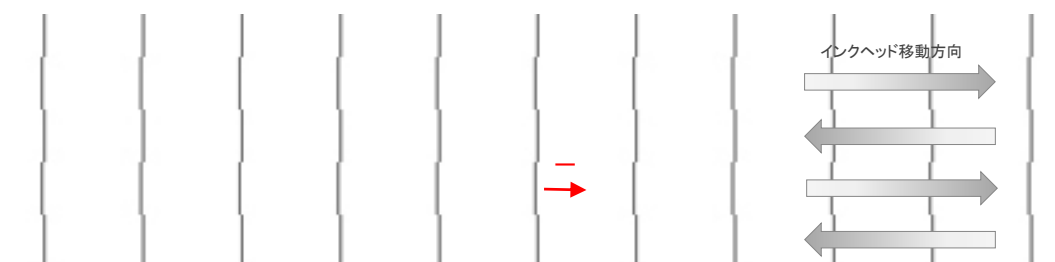
2-3. まず中央付近の線ズレがないかを確認します。  
中央付近のズレの偏差値を調整するには「**INK1 Negative Deviation**」を変更します。  
変更する値はズレている幅によって適宜調整してください。



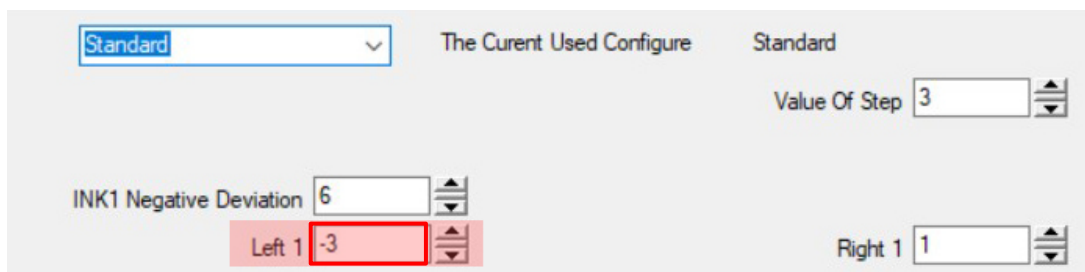
A) 下図のようにズレている場合、INK1 Negative Deviation の値を「+」します。



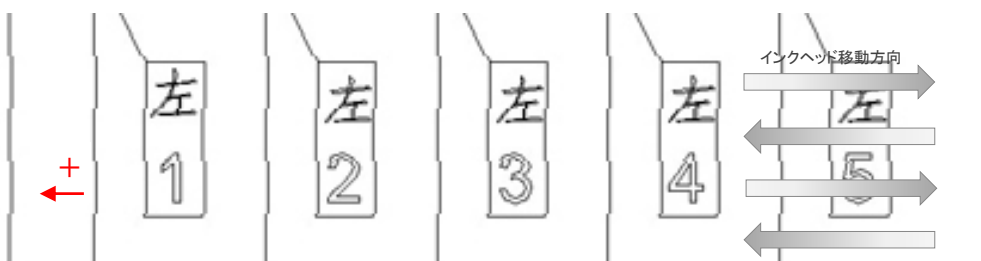
C) 下図のようにズレている場合、INK1 Negative Deviation の値を「-」します。



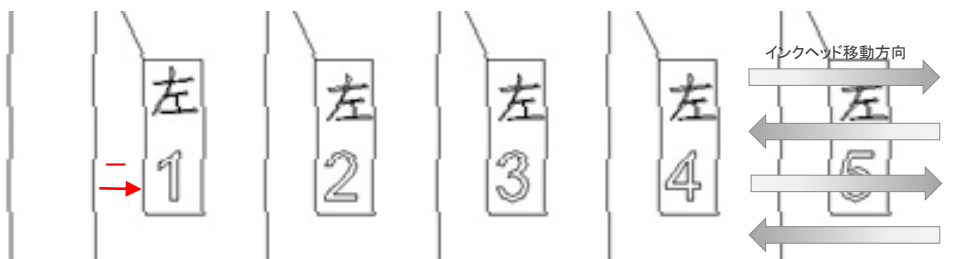
- 2-4. 次に左付近の線ズレがないかを確認します。  
 左付近のズレの偏差値を調整するには「Left 1」を変更します。  
 変更する値はズレている幅によって適宜調整してください。



- A) 下図のようにズレている場合、Left 1 の値を「+」します。

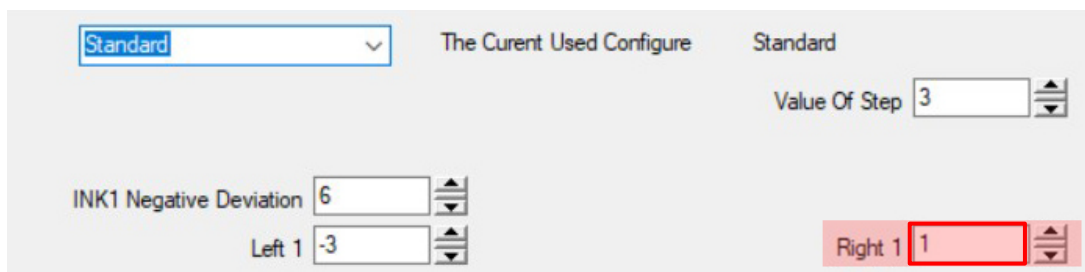


- B) 下図のようにズレている場合、Left 1 の値を「-」します。

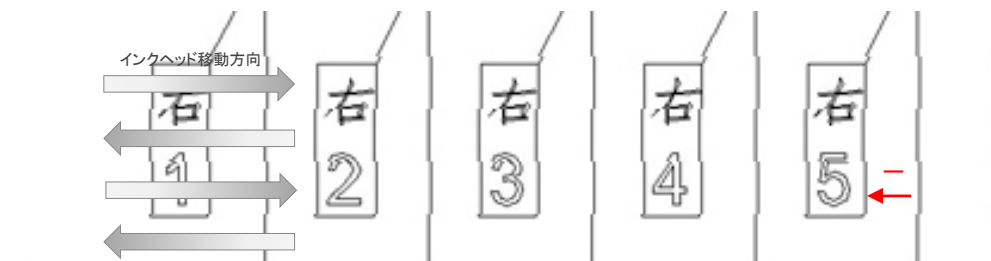


※ 線のズレに対して右調整時と＋が逆になります！

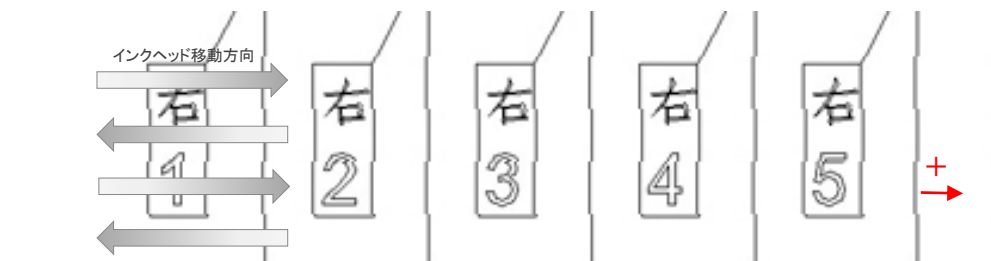
- 2-5. 次に右付近の線ズレがないかを確認します。  
 右付近のズレの偏差値を調整するには「Right 1」を変更します。  
 変更する値はズレている幅によって適宜調整してください。



- C) 下図のようにズレている場合、Right 1 の値を「-」します。



- D) 下図のようにズレている場合、Right 1 の値を「+」します。



※ 線のズレに対して左調整時と+-が逆になります！

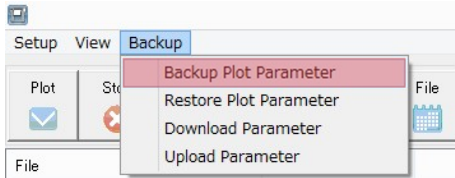
- 2-6. 2-2 の出力 ~ 2-6 の調整までを繰り返して、線のズレが無くなるよう調整します。



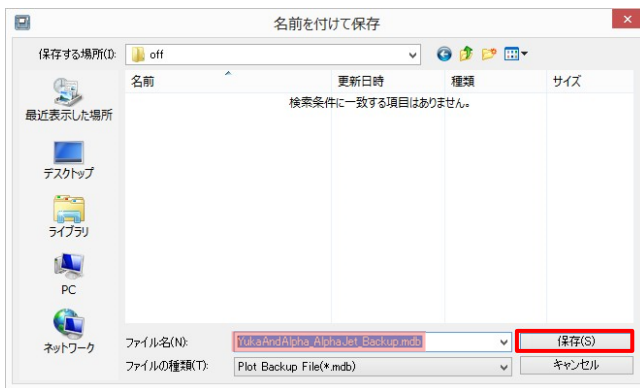
## (8) AlphaJet 設定情報のバックアップ・リストア

### 1) AlphaJet 設定情報のバックアップ

1) メニュー「Backup」-「Backup Plot Parameter」をクリックします。

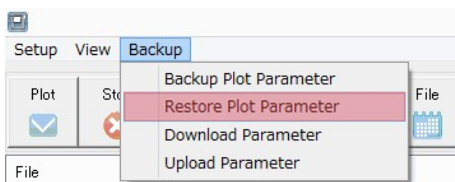


2) 任意のファイル名 (\*.mdb) を付け、AlphaJet 設定情報を保存することができます。

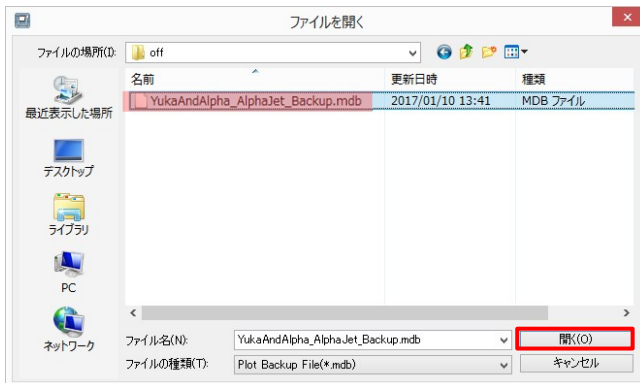


### 2) AlphaJet 設定情報のリストア

1) メニュー「Backup」-「Restore Plot Parameter」をクリックします。



2) 復元したいバックアップファイルを選択し「開く」をクリックします。



3) 「OK」をクリックすると、【YUKA&ALPHA Plotter Control Center】が終了します。



株式  
会社

ユカアンドアルファ

オフィシャルサイト

<https://www.yuka-alpha.com>

サポートアドレス

[support@yuka-alpha.com](mailto:support@yuka-alpha.com)

サポートダイヤル

050-5502-3010

<東京本社>

〒150-0022

東京都渋谷区恵比寿南 1-1-10 サウスコラム小林 6F

TEL : 03-6452-2626 FAX : 03-6452-2627

<大阪営業所>

〒541-0052

大阪府大阪市中央区安土町 1丁目7-13 トヤマビル本館 5F

TEL : 06-4705-8011 FAX : 06-4705-8012

<名古屋営業所>

〒460-0003

愛知県名古屋市中区錦 2-8-26 宮井ビル 9F

TEL : 052-222-6277 FAX : 052-222-6278